

平成31年度 日本大学経済学部 A0 (アドミッション・オフィス) 入学試験
資格取得者を対象とした論文による選考 第一次選考 小論文A課題

日本大学経済学部

下記の課題について、入学試験要項(本学部ホームページよりダウンロードしてください)に含まれる指定用紙を使い、1,350字以上1,500字以内で小論文を書きなさい。ただし、図表や参考文献リストなどは文字数には含みません。

【課題】

平成30年3月8日、日本を含む11か国がチリ・サンティアゴ(Santiago de Chile)でTPP11協定に署名しました。TPPとは、環太平洋パートナーシップ(Trans-Pacific Partnership)の略称です。この協定の特徴の一つは、貿易の自由化レベルが高いことです。関税については10年以内にほぼ100パーセントの撤廃をすることが原則となっています。

このような貿易の自由化は、日本の工業分野と農業分野に対し、どのような影響を及ぼすと考えられますか。この協定が二つの分野に及ぼす影響について、消費者・生産者それぞれの視点に立ち、輸出・輸入の両面から具体的に論述しなさい。

論述のヒントとして、比較的入手しやすい下記の参考文献、さらに関連した新聞・雑誌などの記事を合わせて読むことを薦めます。

【参考資料】

- ・浜田宏一『アベノミクスとTPPが創る日本』講談社、2013年。
- ・本間正義『農業問題—TPP後、農政はこう変わる』(ちくま新書)筑摩書房、2014年。
- ・日本経済新聞社編『TPPがビジネス、暮らしをこう変える』日本経済新聞出版社、2016年。
- ・内閣官房TPP等政府対策本部「TPPとは」(<https://www.cas.go.jp/jp/tpp/about/index.html>:閲覧日2018年5月16日)。

- ・インターネットや書籍などを用いた場合は、URLや文献情報(著者名、書名、発行所、発行年、該当ページ)を明記し、データを利用した場合はその出所を明らかにしてください。
- ・URL・文献・データの情報は、別紙(A4版5枚以内)にまとめて添付してください。

<利用した文献などの記載例>

インターネットの場合:

日本大学経済学部(<http://www.eco.nihon-u.ac.jp/index.php>:閲覧日2017年4月8日)。

書籍の場合:日大ケイ子『詳説 日大経済』三崎町出版、2015年、5-10ページ。

新聞の場合:「原油高、円下落招く」『日本経済新聞』朝刊、2018年5月24日21面。

データの場合:総務省「労働力調査」、2016年。